

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標 (アンケート回答率94%)	成果評価
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にシなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	3	4: 生徒学校評価(16, 18)、生徒生活アンケート(1, 10, 12)、保護者学校評価(14, 16)の平均が90%以上	3
			3:80%以上が回答した。			
			2:60%以上が回答した。			
			1:60%未満であった。			
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:全教員が行った。	3		
			3:80%以上の教員が行った。			
			2:60%以上の教員が行った。			
			1:60%未満であった。			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、タブレットを活用した授業を実施する。	4:全正規教員が毎日活用した。	3		
			3:80%以上の正規教員が週1回以上活用した。			
			2:60%以上の正規教員が週1回以上活用した。			
			1:60%未満であった。			
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:対象となる全学級(全教員)で行った。	4		
			3:80%以上で行った。			
			2:60%以上で行った。			
			1:60%未満であった。			
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4:全教員で行った。	3		
			3:80%以上の教員で行った。			
			2:60%以上の教員で行った。			
			1:60%未満であった。			
		すべての教科で「主体的、対話的で深い学び」に取り組み、「思考力」「コミュニケーション力」「判断力」を育成するためのESDを推進する。	4:全教員で行った。	4		
			3:80%以上の教員で行った。			
			2:60%以上の教員で行った。			
			1:60%未満であった。			

これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
	評価	コメント
<p>英検受験のための土曜青竹クラブは計画どおり実施した。理科の授業ではICTを活用し、実験・観察の機会を豊富にして関心意欲を高めた。1月29日に大田区教育研究推進校として2年間の研究発表を行い、内外に成果を広めることができた。</p> <p>関連する学校自己評価の成果指標(昨年度84.8%)は86.3%で昨年度より1.5ポイント上昇したが目標の90%には届かなかった。調査項目の中で「新聞やテレビのニュースなどに関心がある」が79.5%(昨年度75.0%)で昨年度より上昇しているが特に低く依然として課題である。</p>	A	<p>・自己評価は適切だが、そもそもの目標値に無理があるのではないかと懸念します。</p> <p>・1月29日の研究発表会では、立派な発表を拝見させていただきました。また、理科離れをよく耳にしますが、実験観察の機会が豊富にあることは、生徒の学習意欲や関心が高まると思います。来年度も継続していただきたいです。</p> <p>・各種アンケート結果からは、成果が見えにくいように思いますが、プラン1の目標である「コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力」の育成という面からは、教育研究推進校として、SDGsとの関連を図ったカリキュラムの取組や、特に、シビック・アクションとして「気候変動」「食品ロス」「平和」について、生徒が自らできることを考え、行動する学習を通して、十分に目標に迫ることができていると思います。</p> <p>・土曜青竹クラブに参加する生徒は真面目で熱心です。また、シビック・アクションへの取組を通して、自分が学んだ事や自分の考えをアウトプットする力が身につけていると思います。</p> <p>・調査項目の「あいさつはきちんとしている」が96.5%、「学校行事に積極的に取り組んでいる」が91.3%と高い評価になっているのは良いと思います。また取組評価も3~4であり、とても良いと思います。</p> <p>・研究発表会お疲れ様でした。終了後の先生方のホッとした姿を見て重圧だったのだろうと想像しました。</p> <p>・シビック・アクションを通して、多くの人々へ自らの考えを広めようとする取組は、コミュニケーション能力を高めるために効果的だと感じました。これからもSDGsを考え、身近なことから自らの生活を工夫できることを願っています。</p> <p>・外国語教育指導員の方の活用や「おたのものづくり」を生かした体験活動、タブレットの活用、体育の「一校一取組」運動などは、通常の授業に加えたプラスアルファの取組のように思うので、まだ十分に行われていない面があるのかなと感じます。「新聞やテレビのニュースに関心がある」という調査項目で評価が低いとのことですが、社会の授業におけるニュースカードの取組などで関心をもつ生徒が増えているように思います。継続的な実践が必要かもしれません。</p> <p>・次世代を担う若者の姿として、自分に関わらない事には興味が湧かない！ 広く世界の出来事に対して、一人一人が関心を持てる様、今後の取組に期待します。</p> <p>・生徒の発表活動、タブレットの活用力は確実に向上しており、自信を育むことができていると思います。成長を楽しんでいただきたいです。</p> <p>・生徒学校評価の16, 18のポイントが高いのに対し、保護者学校評価の14, 16の値が低く感じた。研究発表会での活躍もあると思うが、コロナ禍よりも発表の機会が文化的行事も体育的行事も増えた中で、なぜこの違いが出たのかが気になった。新聞やテレビのニュースの関心については、NIEの活動も取り入れていること、また世界のトピックスでは講演会や授業に出てきた内容につながる話題は、さらに関心を高めてくれ、よい取組だと思う。</p> <p>・80%以上のものは成果を得られたと感じます。</p>
	12	
	B	
	2	
	C	
0		
D		
0		

- A : 自己評価は適切である  
B : 自己評価はおおむね適切である  
C : 自己評価は適切ではない  
D : 評価は不可能である